

青年海外協力隊「現職教員特別参加制度」派遣教員レポート（平成20年10月分）

氏名(国内所属校)：祝迫直子(広島県立高宮高等学校)

現地勤務先：スラウェシ島 ジェネポント県 教育局 学校外教育課

平成20年7月16日～10月11日の出来事, 活動の様子

# Selamat(スラマツト)

インドネシア語で、「安寧な, 安全な, 平和な」という意味です。

いろんな言葉と組み合わせてつかいます。

平成20年10月11日作成 第2号

広島県立高宮高等学校 地理歴史・公民科教諭 祝迫直子

青年海外協力隊(JOCV)

平成20年度 第1次隊

任国 インドネシア

職種 青少年活動

## 1 任地スラウェシ島 ジェネポント(Jenepono)県 教育局へ

広島県の皆さん, Selamat siang!<sup>スラマツト シアン</sup>(インドネシア語で「こんにちは」の意味です)。私は

広島県立高宮高等学校の祝迫直子です。平成20年度より現職教員特別参加制度で青年海外協力隊へ参加しています。6月23日にインドネシアへ渡航して, 語学研修等を受け, 7月30日にスラウェシ島へ, そして任地ジェネポント県教育局へ8月5日に赴任しました。第2号である今回は, スラウェシ島での出来事についてお話しします。

## 2 赴任の挨拶

スラウェシ島に到着した翌日(7月31日)に, マカッサル州政府と日本総領事館スラウェシ支部へ赴任の挨拶に行きました。インドネシアに赴任した平成20年度第1次隊10名のうち, 5名が南スラウェシに赴任することになります。職種は私と同じ青少年活動(主要請内容は識字教育の普及活動)の隊員が3名, 野菜栽培の隊員1名, 中学校理数科教師の隊員1名で, 今後どのような活動を行っていくかについて説明しました。

マカッサル州政府にて



日本総領事館にて



その日の夕方に世界三大夕日の一つマカッサルの夕陽を海岸に見にいきました。本当に美しい夕陽で, スラウェシ島の偉大なる自然が私たちをあたたく迎え入れてくれたようでした。いよいよ赴任です!



### 3 活動開始日（8月6日）



ジェネポント県教育局のすぐ近くのスMA（公立の高校）の授業見学へ。生徒の皆さんに紹介されました。授業の終わりに、日本の高校生の様子を生徒たちに教えてほしいといわれ、いきなりだったので、冷や汗ものでした！つたないインドネシア語で説明しました。その日がちょうど8月6日でしたので、広島原爆投下についても話をさせてもらいました。

### 4 第63回インドネシア共和国 独立記念日（8月17日）



独立記念日は任地ジェネポントで迎えました。この日私もメインの式典には教育長夫妻と一緒に参加させてもらいました。おかげで正面の来賓席に座らせてもらうことができ、式典の一部始終を見学しました。多くのジェネポントの住民が参加し、みんなで作りあげる63回目の独立記念式典はインドネシア国民にとってとても大切な行事であると実感しました。

### 5 イスラム教徒のPUASA（断食）9月1日～30日 および Lebaran 休暇に！

日本の社会科の資料集を見ると、イスラム教徒はラマダン（断食月）があり、日がのぼっている間は、飲んだり食べたりすることは一切できない。日が沈んでからいつもよりごちそうを食べるとあります。今回私も9月1日からPUASA（断食）初挑戦でした。私はイスラム教徒ではありませんが、Mau ikut?（断食参加したいですか、一緒に断食やってみる!?)と言われると、ついつい参加すると答えてしまっていました。周りの人がイスラム教徒の人ばかりですから、断食している方が気持ち的にはとても楽でした。一般的には朝3時から4時までに夜食（sahur）を食べる。午後6時過ぎに晩御飯を食べる。ひと月たって、10月1日から断食明けのお祭り（lebaran, 日本のお正月のような感じ）に突入した時、インドネシア人の人たちとともに断食の達成感を共有でき、一緒に喜びあえたことは、生活をともにする青年海外協力隊の隊員ならではの経験だったと思います。9月は顔と体がどんどんやせましたし！またlebaran休暇は、教育長の大家族と、お墓参り・親戚まわり・観光旅行（Tana Traja タナ・トラジャ）をご一緒し、本当は他人なのに寝食を共にする中で、インドネシアで新しい家族ができたようでした。

インドネシアでは、家族の絆や人とのつながりをとても大切にしています。